

イスターカーテン

あけてんで 袖扉タイプ 扉

取付説明書

このたびは、TOKOの商品をご採用いただきましてありがとうございます。
商品の組み立てや取り付けには、この説明書をお読みになり、正しく美しく仕上げてください。
ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたって必ずお守りください。

■ 工事店様へのお願い

同梱されている取扱説明書は、必ず施主様にお渡しください。

——— 目次 ———

□ 施工上の注意事項	P 2
□ 必要工具類の確認	P 2
□ 基本納まり(片引き)	P 3
□ 梱包内容	P 3 ~ 4
□ 取り付け手順	P 4
1 障子・扉の吊込み	P 5 ~ 13
■ 障子・扉の構成	P 5 ~ 6
■ 上枠補助・インナーレールの取り外し	P 7 ~ 8
■ 障子の吊込み	P 9
■ 上枠補助・インナーレールの取り付け	P 10
■ 障子の連結	P 10 ~ 11
■ 扉の吊込み	P 11
■ 丁番位置の調整	P 12
■ レバーハンドル取り付け	P 13
■ ドアクローザー取り付け	P 13
2 障子・扉の建付け調整	P 14 ~ 16
■ ラッチの調整	P 14
■ ラッチの解除	P 14
■ 建付け調整	P 15
□ 施工後の点検	P 16

□施工上の注意事項

- ① 各部材の組み立て・取り付けは、取付説明書通り確実にこなってください。
- ② ねじ止め箇所は、指示してあるねじをすべて確実に締めてください。
- ③ 指定の部品以外は使用しないでください。
- ④ 枠の内法寸法を十分確認してください。
- ⑤ アルミ部材の腐食防止のため、以下の点に注意してください。
 - (1) 基礎用モルタルに海砂を使用しないでください。塩分が含まれていますので、腐食の原因になります。
また、凝結促進剤・減水促進剤・凍結防止剤などを使用しないでください。
 - (2) アルミ部材の表面に付着したモルタルや汚れは、速やかに取除いてください。
 - (3) アルミ部材と、銅板や鉄などの異なる金属が接触しないようにしてください。
必要に応じて、ビニールテープ・塗装などにより絶縁処理をおこなってください。
- ⑥ 扉本体は重いので、二人以上で扱うなど、施工には十分ご注意ください。
- ⑦ 施工後、ねじ類にゆるみやガタツキがないか点検してください。
- ⑧ 商品の外観に有害なキズ、ヘコミ等がないか確認してください。
- ⑨ 開閉作動や施解錠が正常におこなえることを確認してください。

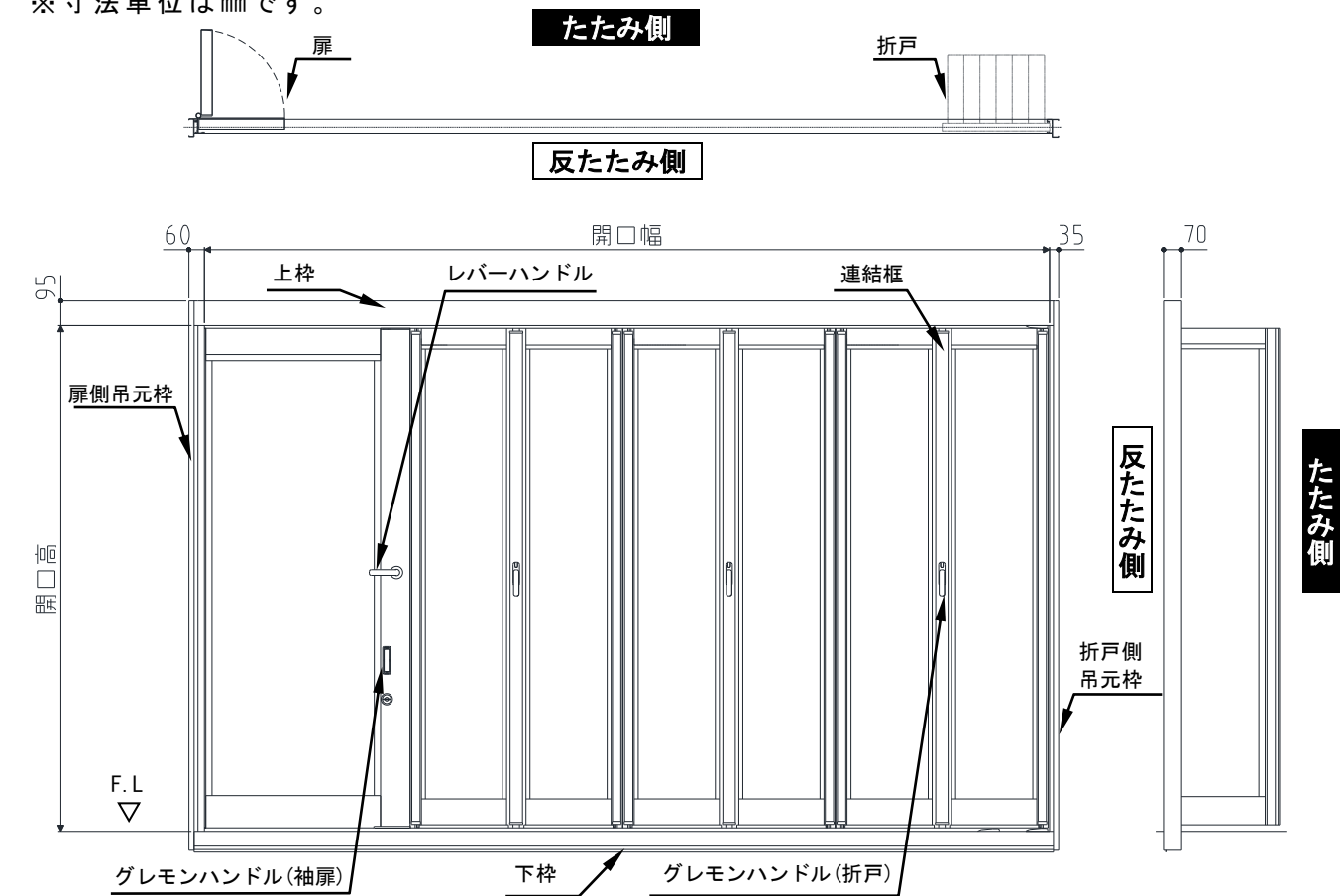
□必要工具類の確認

(+)手動ドライバー 2号	鋼製巻尺
カッター	水平器
電動インパクトドライバー	脚立
ニッパー	足場板
ひも	

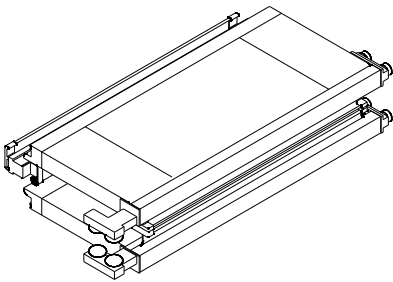
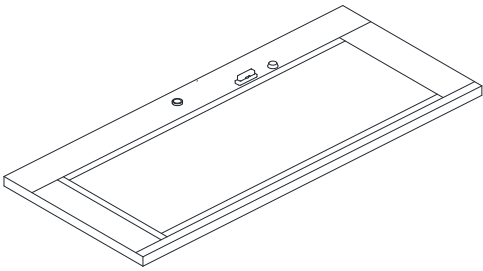
□基本納まり

[片引き]

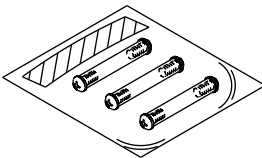
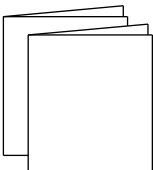
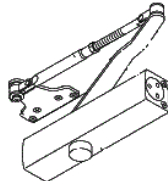
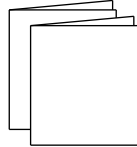
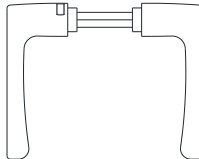
本図は、片引き：左勝手を示す。
※寸法単位はmmです。



□梱包内容

品名	形状	個数	備考
障子		必要数	
扉		1	

■ 同梱部品

連結金具セット			必要数	障子の連結框に貼付
取付説明書 取扱説明書			必要数	袖扉に同梱 注意 同梱されている取扱説明書は、必ず施主様にお渡しください。
ドアクローザー	本体		1	袖扉に同梱 注意 同梱されている取扱説明書は、必ず施主様にお渡しください。
	取付説明書 取扱説明書		1セット	
レバーハンドル			1セット	袖扉に同梱

□ 取り付け手順

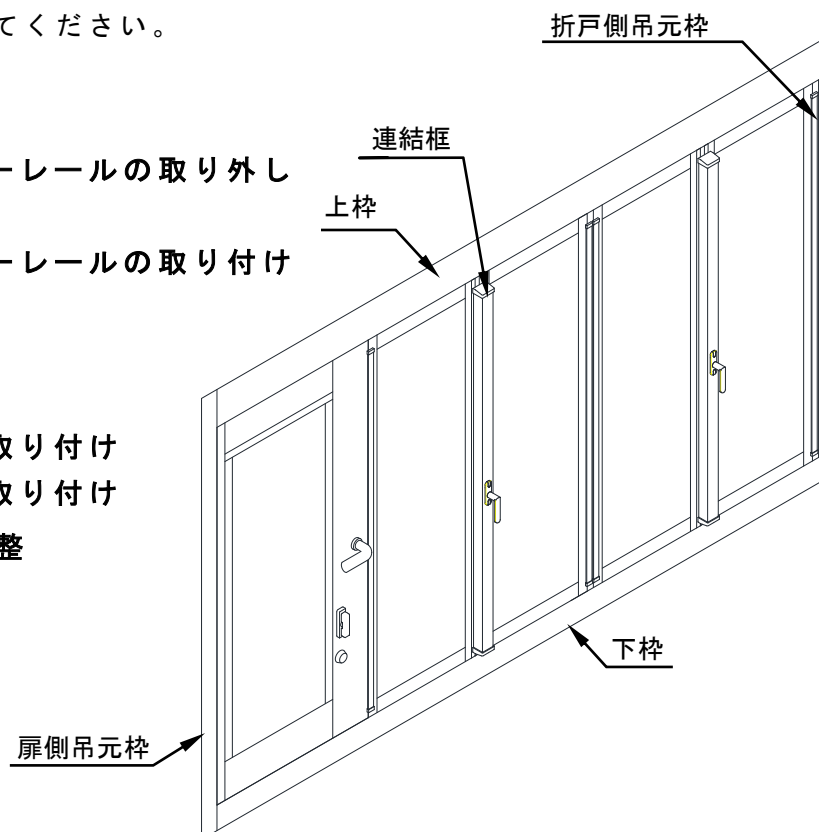
施工は、以下の手順でおこなってください。

1 障子・扉の吊込み

- 障子・扉の構成
- 上枠補助・インナーレールの取り外し
- 障子の吊込み
- 上枠補助・インナーレールの取り付け
- 障子の連結
- 扉の吊込み
- 丁番位置の調整
- レバーハンドルの取り付け
- ドアクローザーの取り付け

2 障子・扉の建付け調整

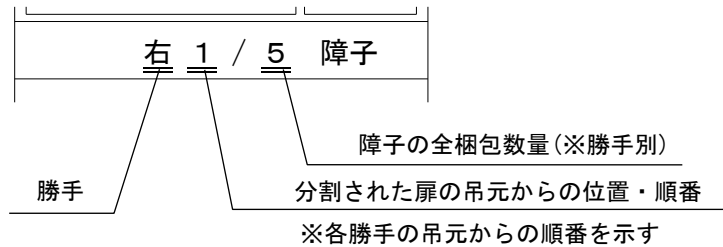
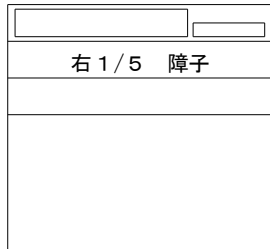
- ラッチの調整
- ラッチの解除
- 建付け調整



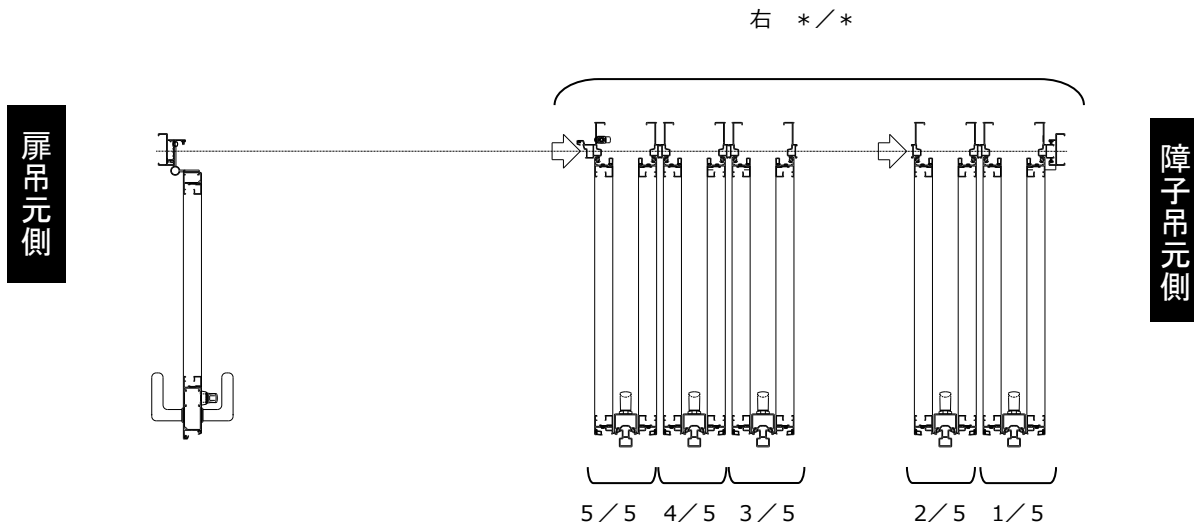
1 障子・扉の吊込み

■障子・扉の構成

障子は、仕様により種類が異なります。梱包箱側面に貼り付けてある梱包表示ラベルにて、障子の配置を確認してください。
吊元枠に近い障子から吊り込む仕様になっています。



【片引き右勝手2連の場合の表記例】



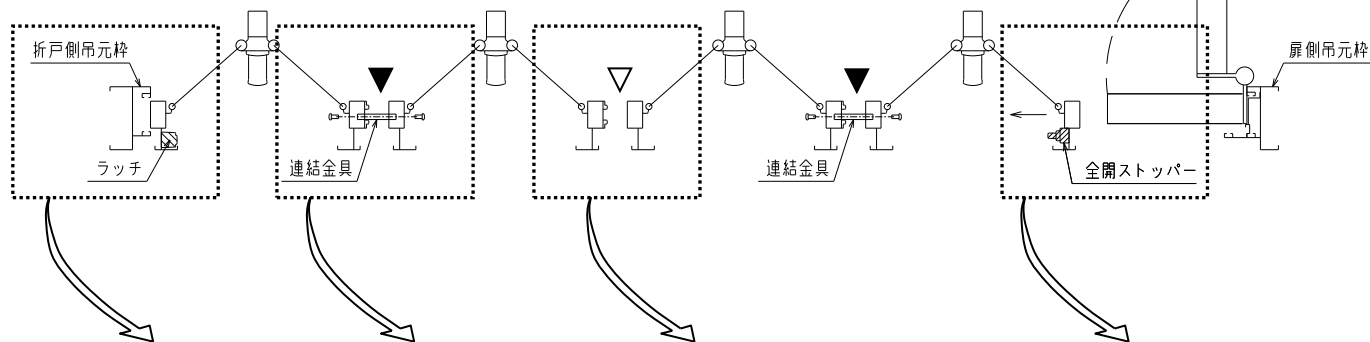
下図を参考に、障子の吊込みを行ってください

*** 連結吊元障子1 ①

*** 連結障子2 ②

*** 連結障子1 ③

*** 戸先連結障子1 ④

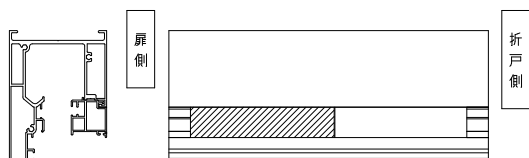


吊元部	連結部	突合わせ部	戸先部
特徴 ・ 建付け調整部品が取り付けられている ・ 型材形状が、他の引手框と違う	特徴 ・ 連結の穴加工がある ・ 左右どちらかにのみ気密材が取り付けられている	特徴 ・ 連結の穴加工が無い ・ 左右どちらかにのみ気密材が取り付けられている	特徴 ・ 全開ストッパーが取り付けられている

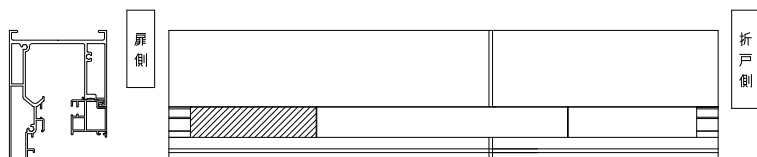
■上枠補助の取り外し

下図に示すハッチング箇所の上枠補助を取り外してください。

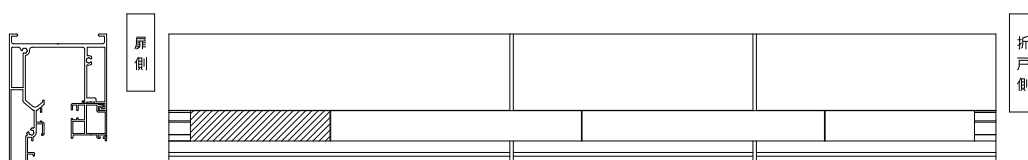
分割無し



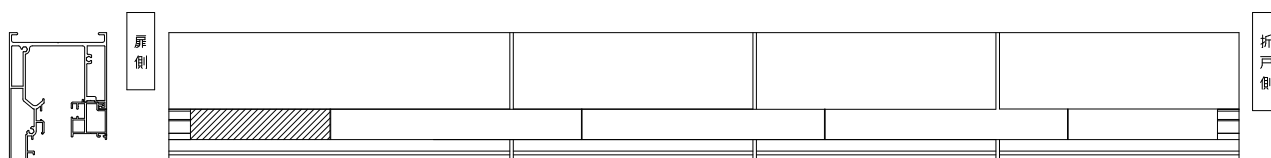
2分割



3分割



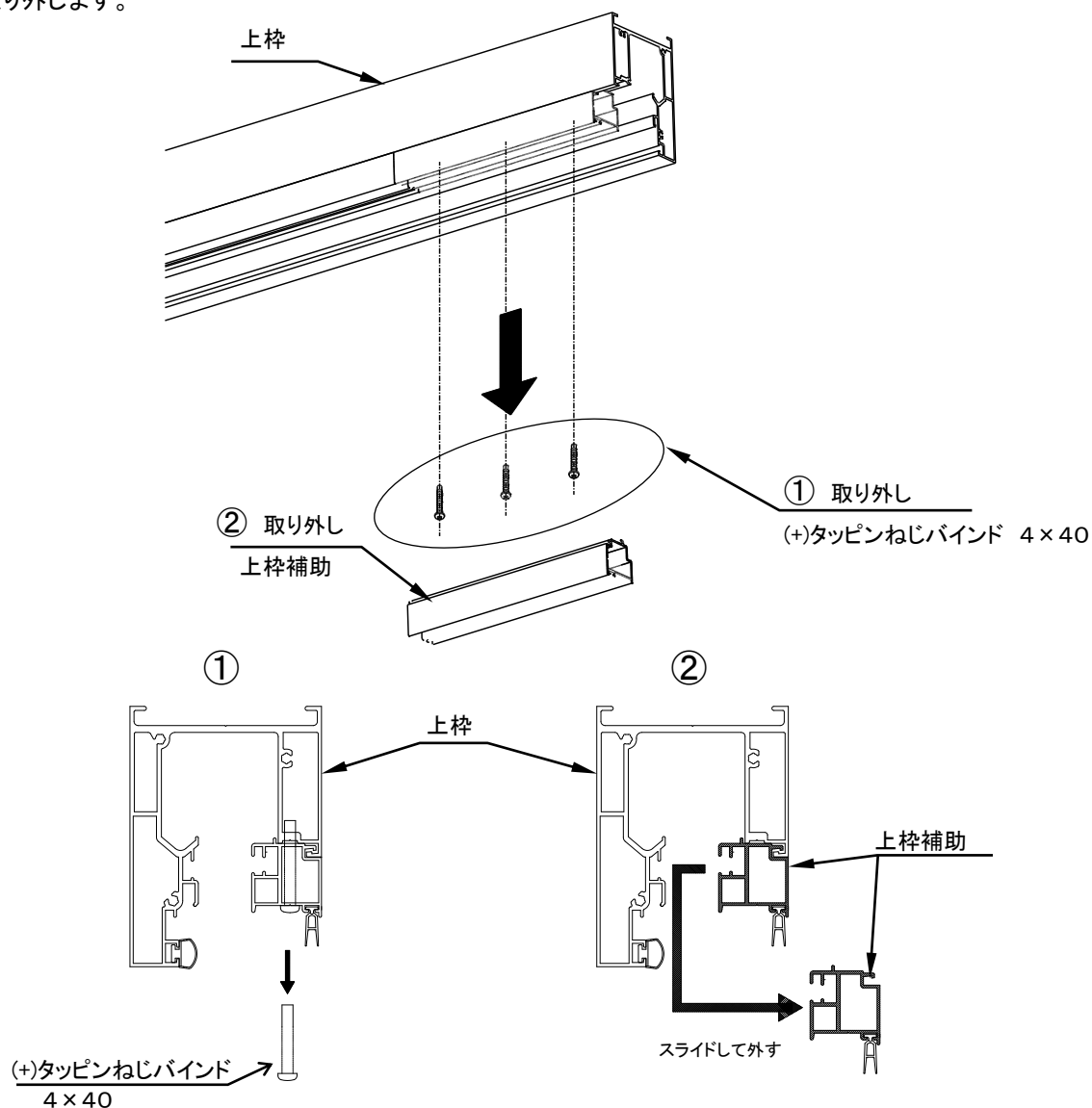
4分割



①上枠補助に取り付けている、(+)タッピンねじバインド 4×40 2本または、3本を取り外します。

注意 取り外した(+)タッピンねじバインド 4×40は、再び使用するので、紛失しないように注意してください。

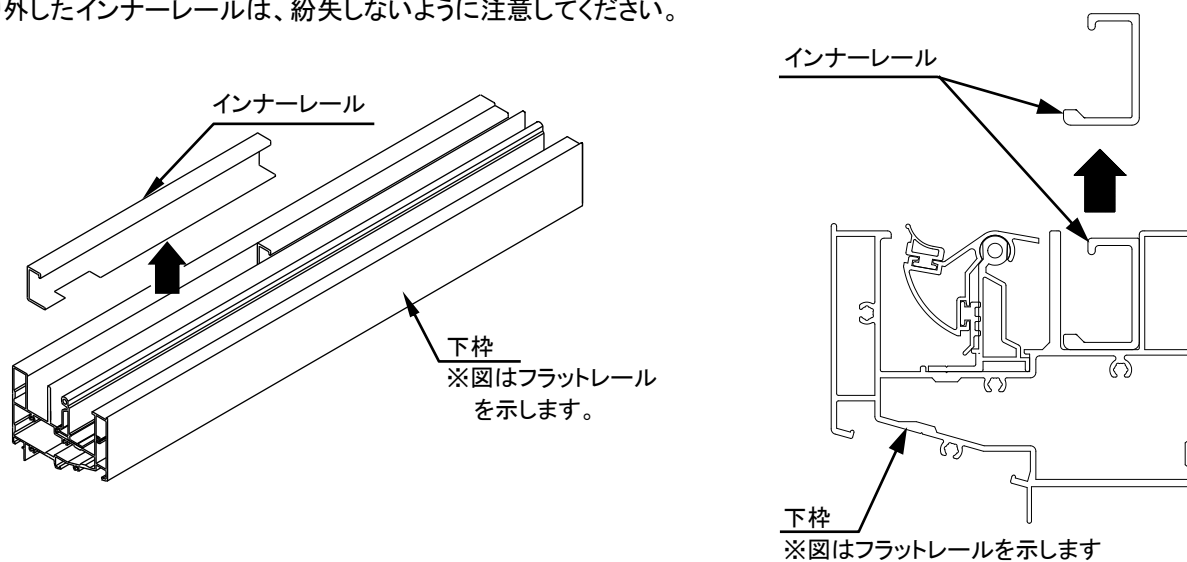
②上枠補助を取り外します。



■インナーレールの取り外し(フラットレール・ステンレールの場合のみ)

取り外した上枠補助の真下付近にある下枠内インナーレールを取り外します。

注意 取り外したインナーレールは、紛失しないように注意してください。



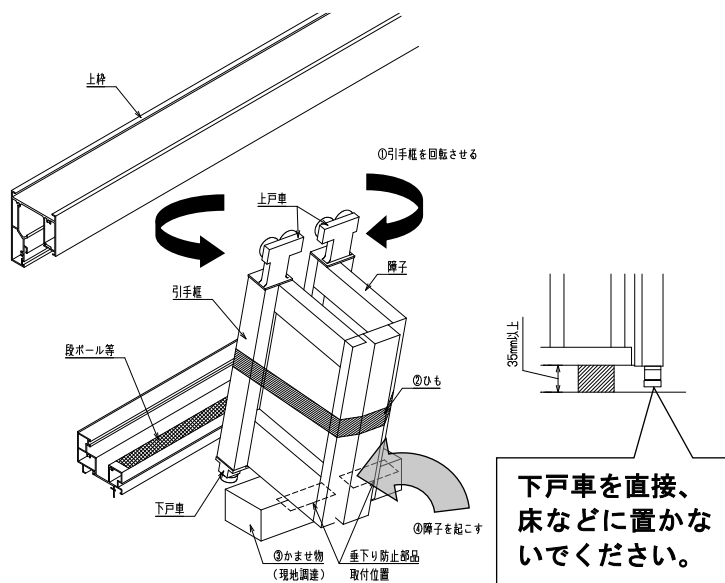
■障子の吊込み

・障子の吊込み

- ①引手框を横に回転させます。
(上戸車を右図の状態にします)
- ②障子が開かないように適当なひもで固定します。
- ③下戸車や障子の下部が傷つかないように
障子の下かませ物を置いてください。
また、下枠に段ボールなどを敷き、傷つかない
ようにしてください。
障子下部に垂下り防止部品が取り付けられて
いますので、取り外さないでください。

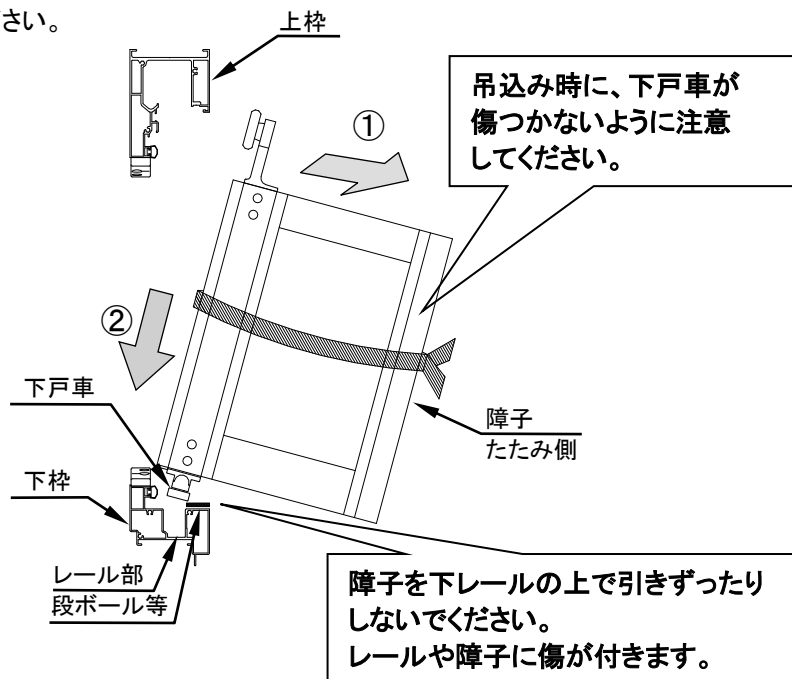
注意 下戸車が傷つくと開閉に支障を
きたします。
かませ物は、厚み35mm以上の
物を使用してください。

- ④障子を起こしてください。



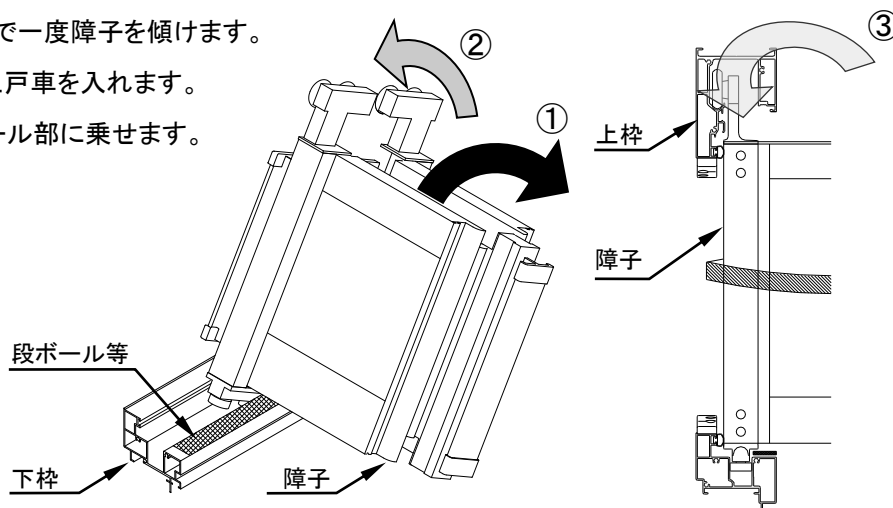
・下戸車を下枠に入れる

- ①折りたたんだ障子を①の矢印の方に傾けてください。
- ②下戸車やレール部が傷つかないように
少し持ち上げながら、下戸車を下枠レール部に入れます。



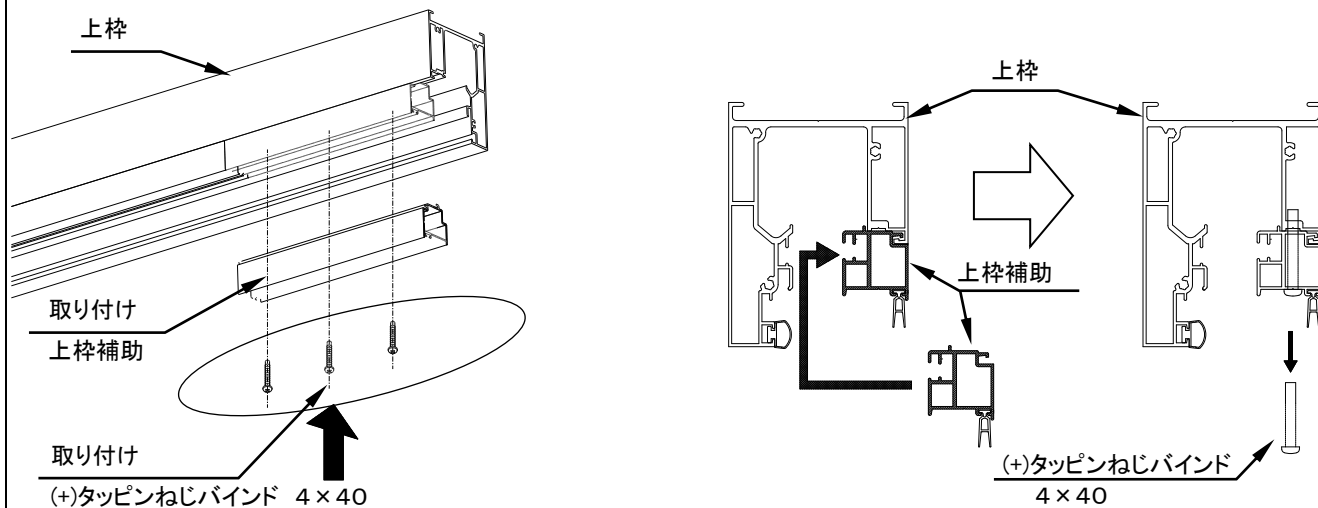
・上戸車を上枠に乗せる

- ①下戸車を下枠レール部に入れた状態で一度障子を傾けます。
- ②傾けた障子を起こしながら上枠内に上戸車を入れます。
- ③障子を持ち上げ、上戸車を上枠のレール部に乗せます。



■上枠補助の取り付け

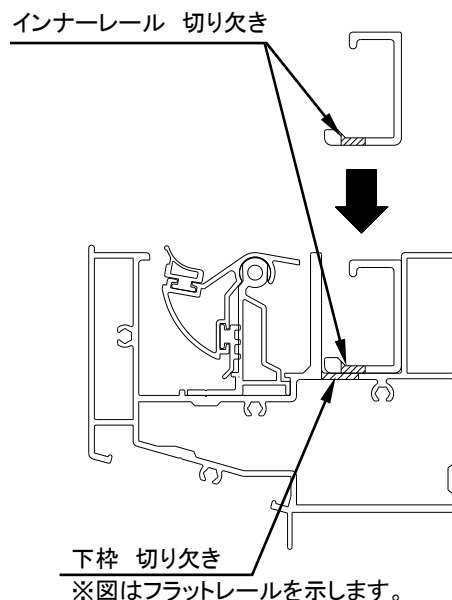
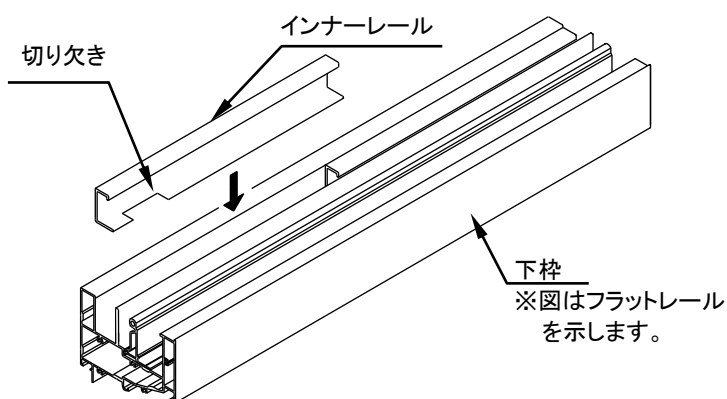
上枠補助を上枠に取り付けて、先ほど取り外した(+)タッピンねじバインド 4×40にて、上枠補助を固定してください。



■インナーレールの取り付け(フラットレール・ステンレールの場合のみ)

インナーレールを下枠にセットしてください。

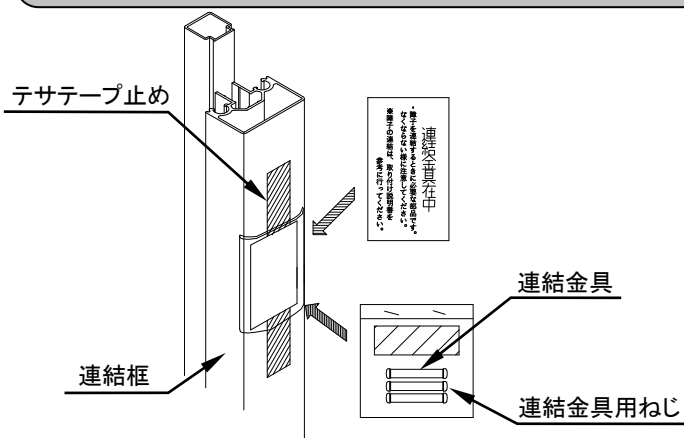
注意 インナーレールを取り付ける際には、
下枠の切欠きとインナーレールの
切欠きが合うように取り付けてください。



■障子の連結

連結金具・連結金具用ねじは、連結框にテープ止めされています。

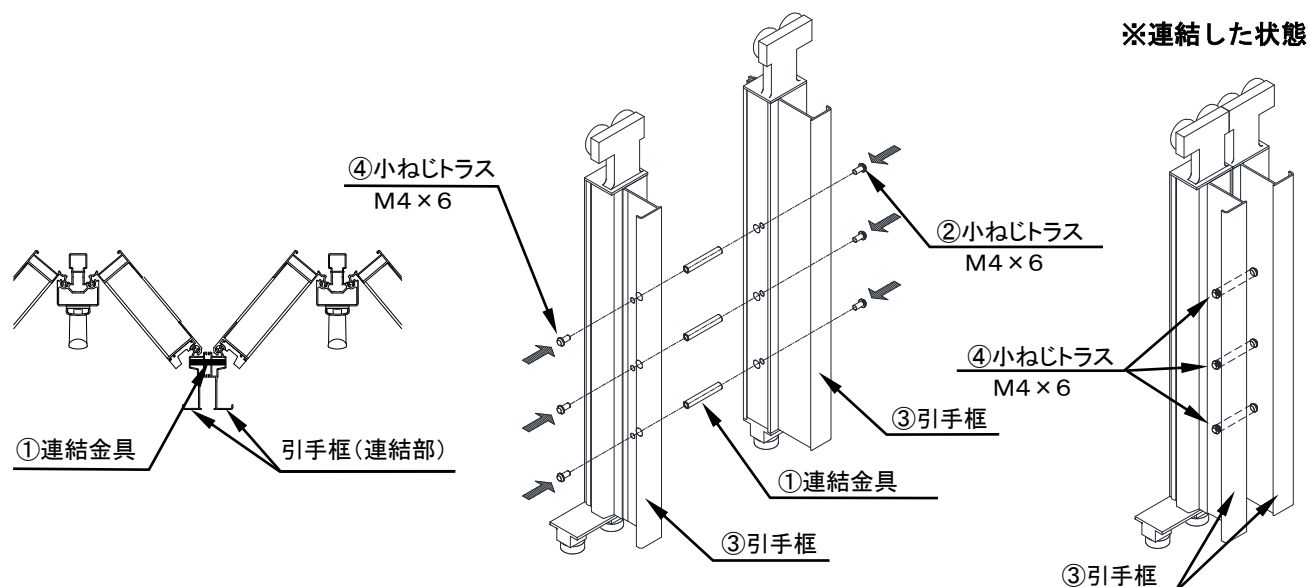
連結框については、取り付け手順図(P4)を確認ください。



・連結方法

連結は、連結する障子同士を半開き状態に行ないます。

- ①連結金具の両端に仮止めしてある(+)小ねじトラス M4×6 6本を取り外し、引手框の貫通穴に連結金具を通します。
- ②連結金具の片側を(+)小ねじトラス M4×6 にてねじ止めします。
- ③連結する引手框を合わせます。
- ④②と反対側の連結金具を(+)小ねじトラス M4×6 にてねじ止めします。

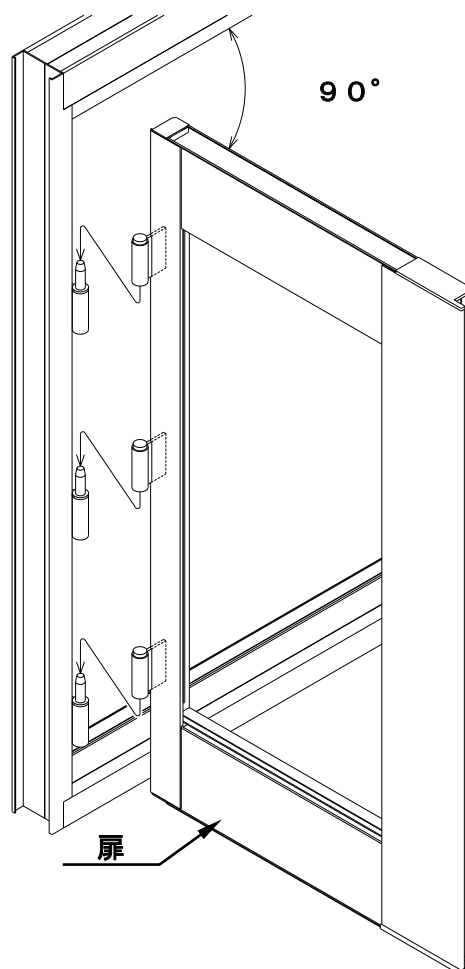


■扉の吊込み

扉は、室外側から吊込みます。

- ① 丁番に取り付いている袋を取り外してください。
- ② 扉を枠に対し、90° 開いた状態にしてください。
- ③ 扉を持ち上げ、扉の丁番を枠下側の丁番に差し込んでください。
この際、扉を枠などにぶつけないよう、気を付けてください。

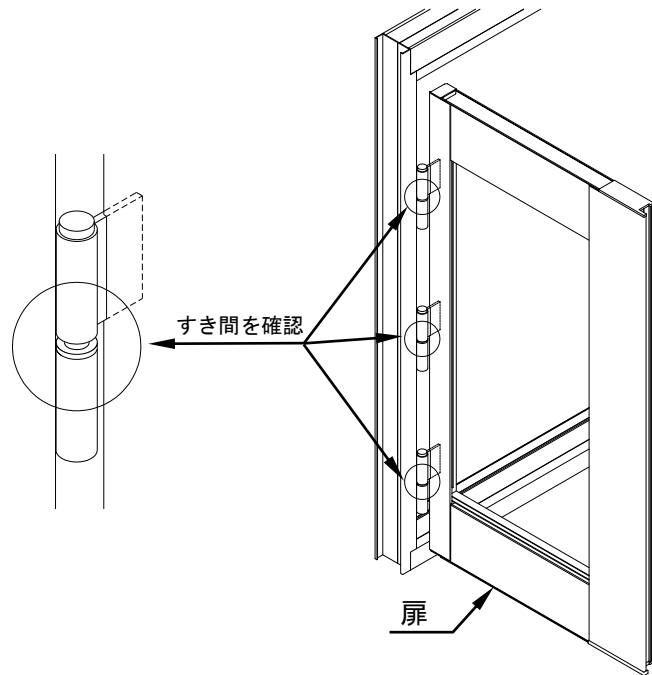
注意 扉の吊込み後は、必ず、丁番部のすき間を確かめてください。(P 12 参照)
すき間があると、扉の開閉に支障をきたすおそれがあります。



■ 丁番位置の調整

・ 丁番すき間の確認

扉を枠に対し、 90° 開いた状態にし、
丁番に右図のようなすき間がある場合は、
丁番位置の調整を行ってください。



・ 丁番位置の調整方法および、注意事項



下部丁番および、枠側丁番は、動かさないでください。
丁番調整は、必ず、扉側丁番の上部および中央部のみを調整してください。

①調整するねじ5本をすべてゆるめてください。



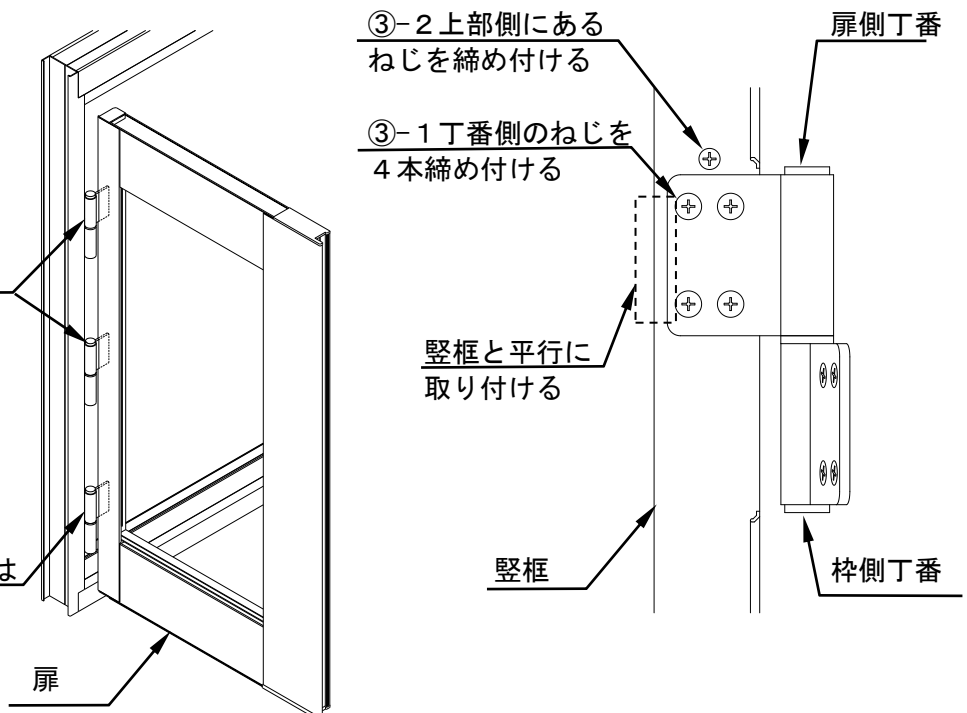
ねじは、ゆるめる程度とし、取り外さないでください。
ねじをすべて取り外してしまうと丁番裏板が落下し、丁番が取り付けられなくなります。

②すき間がなくなるように扉側丁番を下げてください。

③調整後、ねじを締め付ける際は、丁番が傾かないよう、縦枠に対し平行に取り付けてください。
また、ねじの締め付ける順番も、図を参考に行なってください。

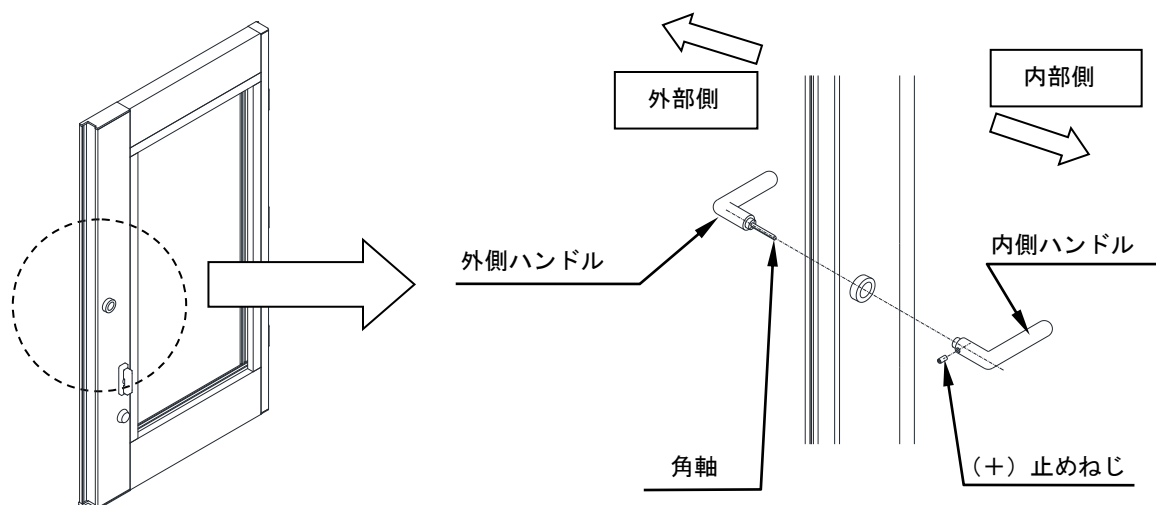
丁番調整の際は、
扉側丁番にて調整を行なう

下部蝶番および、枠側丁番は
動かさないでください



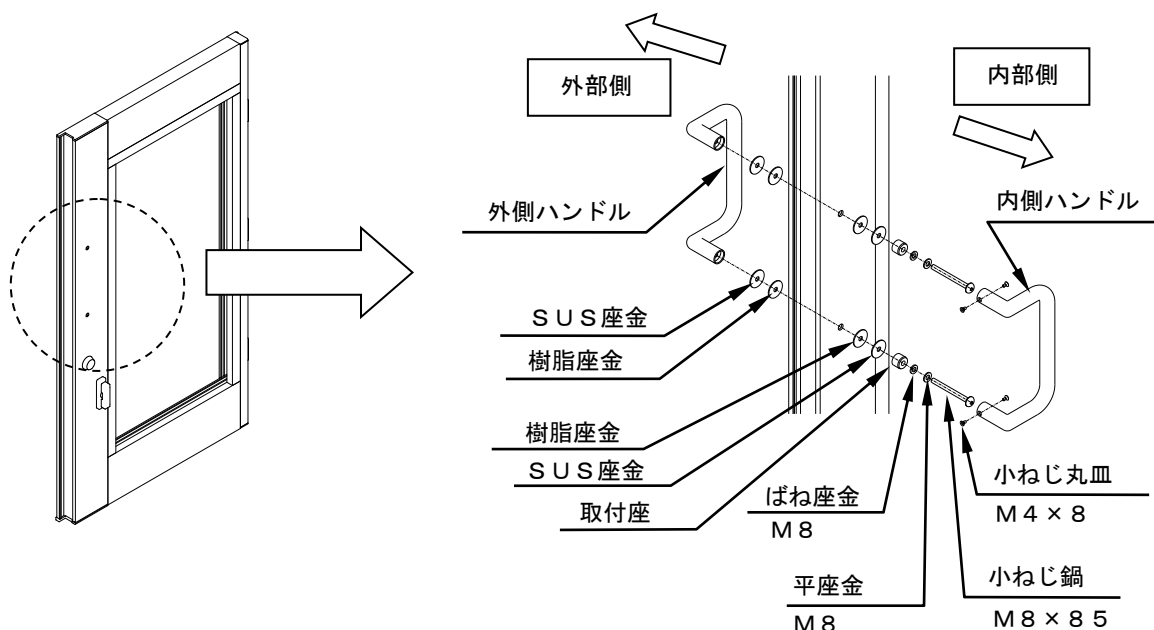
■レバーハンドル取り付け

- ①外部側より、外側ハンドルを扉に取り付けます。
- ②外側ハンドルの角軸に内側ハンドルを嵌め込み、(+)止めねじにて取り付けます。



※【オプション：ドアハンドル仕様の場合】

- ①内部側より、(+)小ねじ鍋M8×85(長いもの)に取付座、樹脂座金、SUS座金、平座金 M8、ばね座金 M8を通し、外側ハンドルを扉に取り付けます。
※小ねじ鍋は M8は2種類の長さのものが同梱されていますが、長いもののみ使用します。
- ②取付座に内側ハンドルを(+)小ねじ丸皿 M4×8にて取り付けます。



■ドアクローザーの取り付け

同梱されているドアクローザーの取付説明書に従って取り付けます。
※取り付け用の加工は枠、扉共にされていますので、勝手の間違いが無いように取り付けてください。

※ドアクローザーの取扱い説明書も同梱されています。
施工終了後、必ずお施主様にお渡しください。

注意 ドアクローザーの調整はガラス施工終了後に行なってください。
ガラス施工前には調整できません。

2 障子・扉の建付け調整

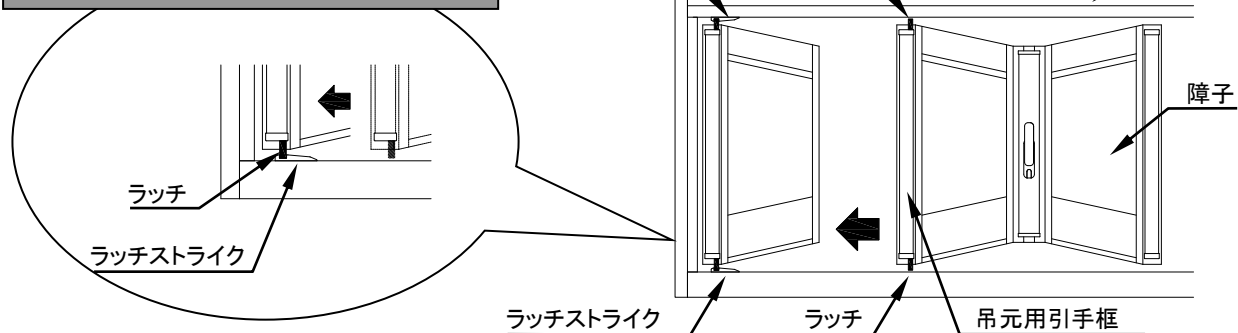
快適な開閉のために、必ず下記のことを行なってください。

・吊元側の引手框は、常に固定になります。

障子を吊込んだ後、まず吊元用引手框の上・下に取り付けられたラッチを、枠に取り付けられているラッチストライク（ラッチ受け）に入れてください。

ラッチがラッチストライクに入りにくい場合、すべての障子を吊込み、障子を閉じれば自動的にラッチストライクに入ります。

ラッチをラッチストライクに入れる。

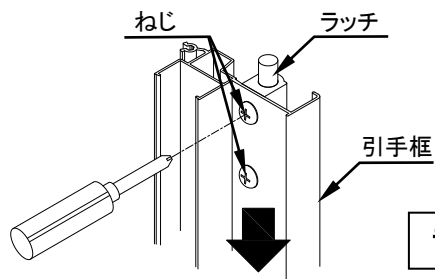


■ラッチの調整

吊元用引手框をラッチストライクに入れた後、ラッチのかかり具合を確認してください。

かかりの調整は、2本のねじをゆるめることで上下に調整することができます。

調整後は確実にねじを締付けてください。



・工場出荷時、上・下のラッチは一番かかりが深くなる状態で、固定してあります。

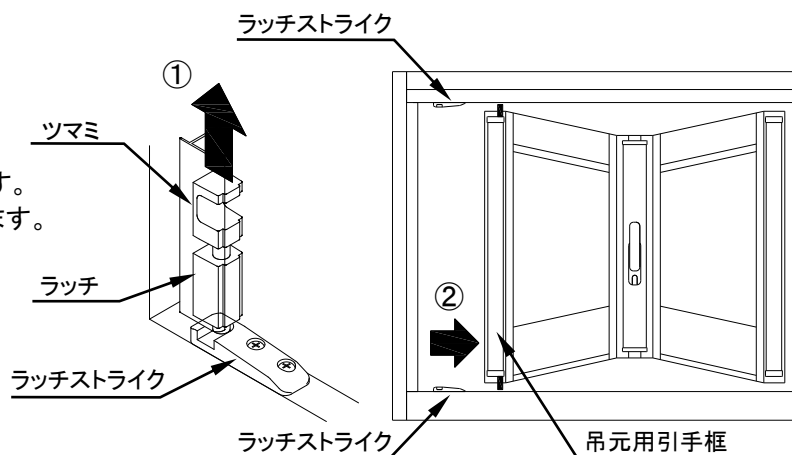
ラッチはかかりが浅くなる方向に4mm調整可能です。

■ラッチの解除

ラッチの解除方法

- ① ラッチのツマミ部分を上方に引きます。
- ② ①の状態、吊元用引手框を引きます。

注意 確認が終わりましたら、障子を全閉した状態でラッチがラッチストライクに入っていることを確認してください。

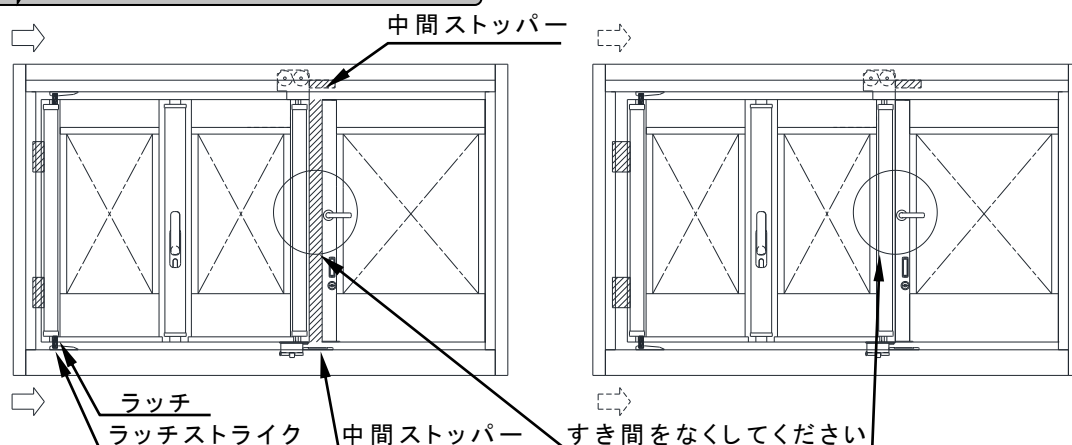


■建付け調整

・突合わせすき間をなくしてください。

扉、障子を全閉し、突合わせ部にすき間がないか確認してください。

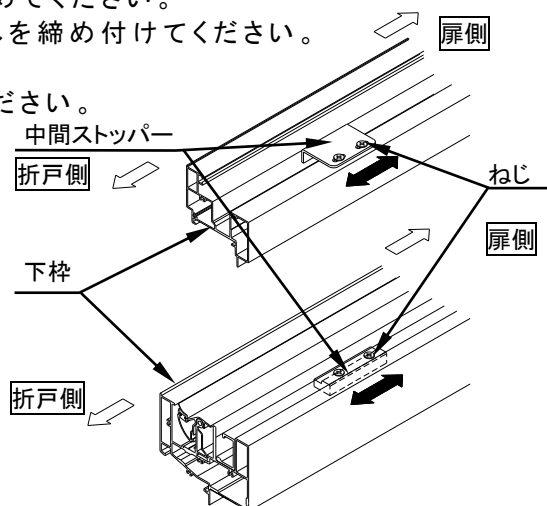
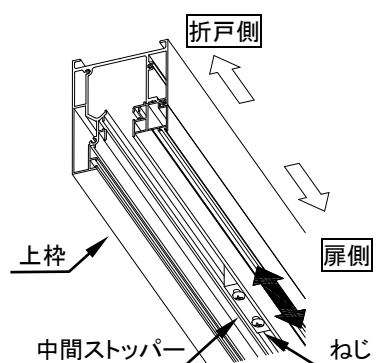
注意 すき間は漏水の原因となります。



すき間がある場合、または、締め付けが強い場合、上下枠の中間ストッパー位置の調整および吊元引手框の建付調整部品を調整し、すき間をなくしてください。

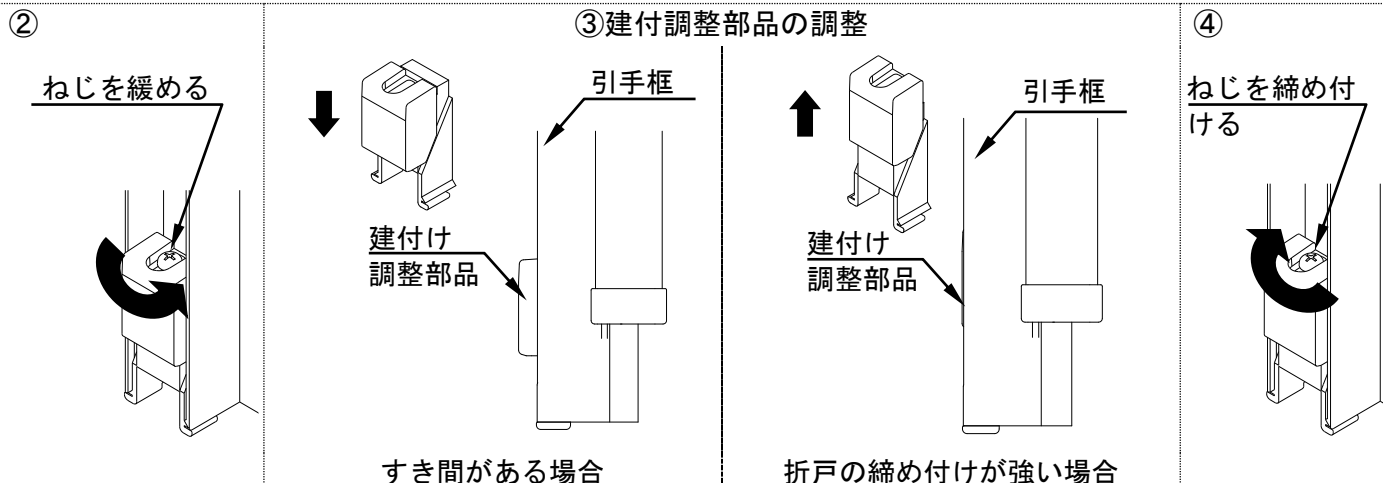
中間ストッパー位置調整方法

- ① 上下枠に取り付けてある中間ストッパーのねじを緩めてください。
 - ② 中間ストッパーを左右にずらした後、①で緩めたねじを締め付けてください。
- ※すき間がある場合、扉側にずらしてください。
- ※折戸の締め付けが強い場合は、折戸側にずらしてください。



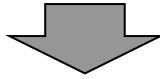
建付調整部品調整方法

- ① 吊元引手框のラッチを解除し、縦枠から吊元引手框を引き出してください
(前頁、ラッチ解除方法参照)
- ② 吊元引手框の上下に取り付けてある、建付調整部品のねじを緩めてください。
- ③ 建付調整部品を下図のように調整し、②で緩めたねじを締め付けてください。
- ④ 吊元引手框を縦枠に戻してください。

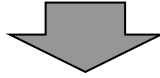


□ 施工後の点検

■ 取り付け作業をしたねじ類の締め具合を確認してください。

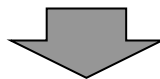


■ 本体についているモルタル等は完全に拭き取ってください。

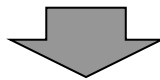


■ 折戸、扉の開閉テストをして、開閉に支障がないかを確認してください。

- ・ 開閉がスムーズであること。
- ・ 折戸、扉が全開でき、全開ストッパーがかけられること。
- ・ グレモンハンドルがスムーズに180° 回転すること。
- ・ 突合わせ部にすき間がないこと。



■ ガラスの施工後に ドアクローザーの調整を行ってください。



■ ガラスの施工後に再度 折戸、扉の開閉テストをして、開閉に支障がないかを確認してください。

- ・ 開閉がスムーズであること。
- ・ 折戸、扉が全開でき、全開ストッパーがかけられること。
- ・ グレモンハンドルがスムーズに180° 回転すること。
- ・ 突合わせ部にすき間がないこと。

注意 → ドアクローザーの調整は、同梱の取付説明書に従い行なってください。
ガラス施工前には調整できません。



株式会社 TOKO

〒916-0062 福井県鯖江市熊田町1-100

電話 (0778)62-1122(代)

FAX (0778)62-2234

'26. 4